

村田コレクション受贈記念

西洋工芸の美



2023年9月14日(木)－11月23日(木・祝)

写真・スリップウェア花文皿 イギリス 18世紀 径38.8cm | 開館時間 10:00－17:00 (入館は閉館30分前まで)
月曜休館(祝日の場合は開館し、翌日休館) | 一般1200円、大高生700円、中小生200円 | 東京都目黒区駒場4-3-33

日本民藝館

1960年代から始まった村田新蔵氏(1930-2008)と洋子氏(1931-)の西洋工芸を中心とする蒐集活動。そのコレクションは主に13世紀から19世紀までの民衆が用いた陶器、ガラス、金工、木工などで形成されています。

全体の核をなす陶器は、日本で人気を博すスリップウェアなどの英国古陶、イスラムの影響が顕著なラスター彩などのスペイン陶器、そしてライン磁器として知られるドイツの水注類、生き生きとした絵付けやプリミティブな姿形が目目を引くオランダの焼物、その他ヨーロッパ各地の器物で占められています。ガラス部門ではレーマー杯などの森林ガラスやエナメルで彩られた愛らしい文様の瓶などがあり、見逃すことができません。金工品は鍛冶職人の手による暖炉周辺の道具、ナイフや鋏など身近の品々、ピューターによる皿や注器類が魅力的です。特筆すべきは、豊富な意匠を誇る鍵と錠のまとまった蒐集品が含まれていることでしょう。くわえて、生活道具として製作された各種の木工品を蔵し、中でも近年関心が高まっているウインザーチェアやラッシュ張りの椅子類は、多くの優品を有しています。

今展は2022年秋に洋子氏と長女・和田安理子氏から受けた、800点を越える村田コレクションの寄贈を記念して開催するものです。新蔵、洋子両氏が生涯をかけて蒐めた西洋工芸の精華、その中からさらに厳選した約300点の優品によって、西洋工芸の美を広く紹介します。



左上より時計回りに、レーマー杯 3点 ドイツ 17-18世紀 中央・高24.3cm/ピューター製皿 イギリス 17世紀 径22.6cm、ナイフ イギリス又はオランダ 15-19世紀 長さ22.4cm/鍵看板 ドイツ又はフランス 15-16世紀 高25.5cm/藍絵双頭の鷲文薬壺 スペイン 18世紀 高29.7cm/ナイフ 7点 イギリス又はオランダ 15-19世紀 中央・長さ23.4cm/水注3点 ドイツ 15-16世紀 中央・高30cm/ターント・アームチェア イギリス 17世紀 高82cm/藍絵人物文皿 2点 17世紀 下・径19.5cm

記念講演会 演題「西洋工芸」 | 講師・金沢百枝(多摩美術大学美術学部芸術学科教授) | 11月11日(土) | 料金・300円(入館料別、要電話予約)

開館時間10:00-17:00(入館は閉館30分前まで) | 月曜休館(祝日の場合は開館し、翌日休館) | 一般1200円、大高生700円、中小生200円 | 西館公開日(旧柳宗悦邸)・会期中の第2水曜、第2土曜、第3水曜、第3土曜(開館時間10:00-16:30、入館は16:00まで) | 〒153-0041東京都目黒区駒場4-3-33 Tel.03-3467-4527 | 京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<https://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館

展覧会予定 2023年12月10日(日)-12月24日(日) 2023年度日本民藝館展-新作家公募展-
2024年1月14日(日)-3月20日(水・祝) 柳宗悦唯一の内弟子 鈴木繁男展-手と眼の創作

